

# 桜の聖母 傾聴ボランティアさくら たより

2014年3月1日  
桜の聖母  
傾聴ボランティアさくら  
発行  
第2号

傾聴ボランティアをそれぞれのお立場で活かしておられることとお喜び申し上げます。  
被災地の復興事業の一環として2012年度に開講された「傾聴ボランティア養成講座」  
2014年1月に第4期が終了いたしました。講師の岡安詔子先生とシスター古賀綾子に御礼を申し上げます。一昨年、傾聴養成講座の1期養成講座が終わると同時に、ボランティアに赴きたいという希望と声が生まれました。時を同じくして社会福祉法人の施設から傾聴ボランティアの要請があり、それが核になって活動を始め、2期養成講座終了時に「傾聴ボランティアさくら」と銘打って立ち上げ、3期養成講座修了された方々も加わり活動を続けて参りました。さらに、4期養成講座修了の方々の加入を頂き、活発に活動を続けて参りたいと思います。1年間の傾聴ボランティア活動の分かち合いやお知らせのために「傾聴ボランティアさくら」便り2号をお送りいたします。

## 傾聴ボランティアの活動のご報告

### 1. 社会福祉法人「なごみの郷」訪問

実施日 : 毎月第2日曜日  
実施時間 : 午後1時45分～打ち合わせ  
2時～3時 各部屋に2人から3人で傾聴  
3時～3時30分 振り返り  
場 所 : 福島市大平寺町ノ内30 社会福祉法人「なごみの郷」  
交 通 : 福島交通バス バイパス経由医大線「太平寺」停留所より徒歩5分  
人 数 : 制限ありません。

※実施日は新年度から変更になる可能性があります。(例えば第2日曜日を第3日曜日へ移動)

### 2. 医療法人「生愛会」訪問

実施日 : 毎月第4水曜日  
実施時間 : 14時～15時 (集合13時40分)  
場 所 : 福島市大笹生字向平13-1 医療法人「生愛会」  
人 数 : 平成25年度は4名

※送迎車の往路は飯坂線の桜水駅13時20分出発、復路は15時15分に生愛会出発です。  
尚、新しいメンバーの開始は平成26年4月からとなります。

### 3. 飯館村「お茶のみ会」参加

実施日 : 2カ月に1回

時間 : 今回は10時から12時まで 弁当持参で午後1時までのこともあります。

場所 : 青少年センター(黒岩)または隣接する杉妻学習センター(黒岩字田部屋53-2)

交通 : 福島交通バス バイパス経由医大線「鳥谷野扇田」停留所より徒歩5分

### 4. 常設コーナー「傾聴さくら」

実施日 : 毎月第2、第4木曜日

時間 : 午後1時30分～3時30分

場所 : 桜の聖母生涯学習センター1階第2学生小ホール



### 5. そのほかにご提案やご紹介をお願い申し上げます。

## 傾聴ボランティアに参加して

「私にとって傾聴とは!!」 「なごみの郷」を訪問 吉川 京子(1期生)

私が「傾聴ボランティア」という奉仕活動を改めて意識したのは、福島市が“花も実もあるうつくしま”をキャッチフレーズにして花見山を取り上げ、その第1期生となった頃です。『東北6県ボランティア研修会』が福島市で開催され、私たち6人の仲間が参加しました。

内容は、各県代表者がそれぞれの環境で、今取り組んでいる“ボランティア活動”の発表で、岩手県久慈市の方が発表する中に、『久慈市は、現在高齢者が多く、仕事もなく生活気力も失い、鬱病状態の方がめっきり増えて、その上自殺者が日本一多いという悲しいレッテルが付けられました。町全体がとても暗く感じました。そこでお金も能力もない私たちが出来ることは何だろうと思ひ、及ばずながらお話だけでも聴こうと思ったのです。ところがそう簡単ではありませんでした。しかし私たちが少しでも役に立とうと決心したからには、へこたれておられず、気を取り直し、訪問することを重ねていく内に、ぽつりぽつりと会話が弾み、更に私たちがお誘いする集会所にも出かけて来るようになり、お話しすることから、悩みを語るお仲間も増え、長い月日はかかりましたが、今では自殺者が少なくなりました。』と熱く真剣に、訴える姿に感動しました。

この時私たちも、花案内だけに終わらず、出来得る奉仕をしようと決意したのです。そのような心構えから、桜の聖母生涯学習センターが実施する「傾聴ボランティア養成講座」を受講してその資格を得ました。生涯学習センターの指導の許にボランティアグループを作り、福島市内に在る「なごみの郷」を訪問することになりました。

訪問を始めた当座は6人でしたが、1年半経過した現在20人になりました。施設「なごみの郷」には、東日本大震災の被災者も多く身を寄せ、震災のために、心身共に痛み、介護なしでは生活できない方も居住されています。限られた日ではありますが、私たちが訪問する日を待っていて、顔

を合わせると笑顔で、家族のこと、孫のこと、懐かしい昔の事柄を何度も何度も繰り返し話す姿を見ると、施設側から示されている予定時間もたちまち経過して、席を立つ機会も失います。暇乞いするとき、元気に手を振ってくれる姿には、私たちが目頭が熱くなり、罹災者を支えようとしている私たちが、逆に、どれほど元気を頂いているかはかり知れません。私も老いの身ではありますが、身体の許す限り、この傾聴活動を続けたいと心から思います。

### 「傾聴ボランティア活動に参加して」 「生愛会」の訪問 佐藤 裕子（2期生）

退職を一年前にして何かしたいと模索していた私にとって養成講座の折込みチラシ『高齢期の方へ聴く人の存在として心に寄り添います』が妙に心に響き思い切って受講することにした。講座を修了する頃にはボランティアを通し役に立ちたいと思うようになった。

6月より4名にて医療法人『生愛会』で活動を開始した。『生愛会』は大笹生と少し遠い所であるが最寄り駅迄の送迎があり活動し易いところである。又、理事長さんから傾聴ボランティアの重要性をお伺いし、受入体制がしっかりした施設であると感じた。不安ではあったが頑張ろうという気持ちが強くなったことを覚えている。

最初は、話し手と無言状態になるのが恐ろしく、話さなければと焦り反省することばかりだった。でもボランティア仲間と共有することで救われた。傾聴後のお茶会が定例行事となり、振り返りができた。それは活動するうえで大事なことだと思う。回を重ねるうちに以前より少しじっくり聴くことができるようになった気がする。顔を覚えていてくれた時は、とても親近感を感じ嬉しかった。

傾聴ボランティアを通し、不器用ではあるが話し手とかかわる心の準備（心の余裕）が大切だと知った。まだまだ本来の傾聴、心の内を開いてくれる処までには至っていないが顔なじみになり心を許してくれる時がくることを期待し、これからも地道な活動を続けていきたい。

### 「常設コーナー 傾聴ボランティアさくら」 氏家 重子（3期生）

私達傾聴ボランティアさくらは桜の聖母生涯学習センター主催の傾聴ボランティア養成講座を受講し認定証を授与された人たちが毎月第2・第4の木曜日に常設コーナーを開いて勉強している集まりです。3・11震災と原発事故後、将来に希望が持てず又病気や一人暮らしに不安を抱きながら過ごしておられる方もいらっしゃる事と思います。私達は傾聴ボランティアの活動を通して老若男女を問わず、出会いと会話の中で一人一人に寄り添いと分かち合いの大切さを学んで参りました。桜の聖母学習センターの一室をお借りして皆様との出会いを大切にしていきたいと考えています。傾聴などという堅苦しい言葉に拘らず、お買物の途中にでも午後の一時お茶を飲みながら出会いと語らいに楽しみを見出しては如何でしょうか。スタッフ一同心よりお待ちしております。

「傾聴ボランティアに参加して」 「飯舘村のお茶飲み会」 栗野 富美子（2期生）

常設コーナーの場所でお話を聴かせていただくために月に2回のうち1回を担当させていただき準備をしてきた。立ち上げたばかりの所にどうしたら気軽に来ていただけるか、場所はわかるか、交通の手段は大丈夫か、傾聴の存在を知っていただくにはどうしたらいいか等、手探りで進めていく中、飯舘の方々との集いに参加させていただく機会を得た。

2ヶ月に1回の「集い」が青少年会館の体育館で開かれていた。沢山の方たちがそれぞれのテーブルを囲んでお茶やお菓子を食べながら主催者が企画したプログラムの3B体操や、血圧を測りながら健康相談を受けるコーナー、そして参加した方たちの興味を引くようなお話や誕生日を祝う催しなど内容が充実した中で私たちはそれぞれのテーブルに座らせていただき、お話を伺った。

70代から80代の男女が10人位、はじめは皆さん久しぶりの様子で挨拶を交わし近況の情報交換をする。会話が弾み楽しそうに笑っている。私の出番はあるのかと不安は募る。プログラムが進行し3B体操が始まった、色々な道具を使うため分からなくなる、私も一緒に顔を見合わせて苦笑い、隣の男性が教えてくれた、出来たと大笑いになる。心が通った一瞬、そこから私は皆さんの仲間になった気がした。構えることなどない、隣りのおばさんになって一緒に楽しむことが心を開く鍵、健康の事、血圧測定の結果はどうだったか、旅行したこと、毎週温泉に行くバスが出ている事など沢山の話しを聴かせて頂いた。そして気付いた事は、複数の方たちが相手でも一人が相手でも話しやすい雰囲気をつくる事、同じ目線で相手の話を聴くことが大切と、飯舘の素敵な方たちに教えて頂いた。

あの笑顔がいつまでも続きますようにと心から願う。傾聴ボランティアの存在を知らない方がまだ沢山いらっしゃる。これからが本番、コツコツと地道に傾聴を通してあの笑顔を支えるお手伝いがしたいと思う。

## 新年度の活動にあたって

### 1. 「傾聴ボランティアさくら」の加入の確認について

再度お手数をおかけいたしますが、ボランティア保険加入のため「傾聴ボランティアさくら」の加入の確認をさせていただきたいと思います。

「傾聴ボランティアさくら」に加入を希望される方は、別紙Aにご記入の上、FAX または郵便でお送りくださいますようお願い申し上げます。

FAX : 024-534-4571

住所 : 〒960-8585 福島市花園町3番6号

桜の聖母生涯学習センター内

傾聴ボランティアさくら 宛



## 2. ボランティア保険の加入について

「傾聴ボランティア認定証」をうけられた皆様、新年度が始まり活動の意欲を募らせておられることをごさいます。つきましては傾聴ボランティアの活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任などの補償のための保険加入についてご提案申し上げます。

4月から活動をはじめの予定でいますので、保険加入の手続きも急ぎたいと思います。しかし、平成26年度のボランティア保険資料がまだできていないため、一応、平成25年度の資料を参考にしてお知らせいたします。

手続きにつきましては、勝手ながら4月に予定しています総会の席にて、加入申し込み及び保険料をお預かりいたしますのでご検討ください。

年間保険料 天災タイプAタイプ(基本タイプ+地震+噴火+津波) 490円

(平成26年2月14日現在)

※なお総会にご欠席でも保険加入をご希望の場合は下記の時間に加入受け付けをさせていただきます。4月20日(日)9時30分～10時 12時00分～12時40分

※ 保険期間は平成26年4月1日から平成27年3月31日までとなります。

※すでに他のボランティア保険に加入しておられる方は、再加入する必要はありません。

## 3. 傾聴のスキルアップを図るために

2014年度も「傾聴ボランティア養成講座」のほかに、B.「傾聴ボランティア・アフターケアコース」が開講され、さらにC.「認知症サポーター養成講座」D.「使える傾聴力講」E.「笑顔がはじけるマジック入門」F.「音でつなぐ心のかげはし」が開講されます。「傾聴ボランティア養成講座」を終了された皆様のための講座です。傾聴のスキルをより向上させるためのよい手だてだと思いますので、桜の聖母生涯学習センター発行のパンフレットをご参照の上、資料の準備の都合もありますので、別紙Bにご記入の上、FAXまたは郵便で申し込みください。

B. 傾聴ボランティア・アフターケアコース 日曜日 10時～12時

(春期) 5月11日 6月8日 7月6日

(秋期) 9月7日 11月9日 1月18日

C. 認知症サポーター養成講座 5月31日(土) 13時～15時30分

D. 使える！傾聴力講座 9月6日(土) 13時～15時30分

E. 笑顔がはじける 5月17日(土) 6月21日(土) 7月19日(土)

マジック入門  
F. 音でつなぐ心のかげはし

13時30分～14時30分

4月27日(日), 6月1日(日), 7月6日(日) 11時～12時

## お知らせ

平成26年度4月中旬頃に「傾聴ボランティアさくら」の総会の開催を予定  
しています。詳しいことは後日お知らせ申し上げます。

名称 : 桜の聖母生涯学習センター  
「傾聴ボランティアさくら」  
住所 : 〒960-8585 福島市花園町3番6号  
桜の聖母生涯学習センター内  
連絡先 : TEL 024-535-2531  
FAX 024-534-4571  
携帯 [080-8211-6811]  
[URL] : <http://www.ssg.ac.jp>

